平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場会社名　株式会社 シンニッタン　　上場取引所　東
コード番号　6319　URL　http://snt.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 橋本　諭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長　(氏名) 小林　謙治　TEL 044-200-7812

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,658	△12.6	1,080	△18.6	1,515	△16.7	966	△17.4
24年3月期第3四半期	15,619	17.4	1,328	22.0	1,819	30.2	1,170	22.8

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　998百万円　(88.8%)　24年3月期第3四半期　528百万円　(△35.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	36.99	―
24年3月期第3四半期	44.79	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	31,492	22,920	72.5
24年3月期	33,208	22,187	66.6

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　22,830百万円　24年3月期　22,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	10.00	10.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	△10.2	1,250	△31.4	1,750	△26.8	1,100	58.4	42.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	28,998,691 株	24年3月期	28,998,691 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,875,218 株	24年3月期	2,875,155 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	26,123,517 株	24年3月期3Q	26,123,539 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（１）連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（２）連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（３）連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・3

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
（１）四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・8
（４）継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
（５）セグメント情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・・11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（以下「当第３四半期」という。）におけるわが国経済は、前半は復興関連需要が全体の需要を押し上げた他、エコカー補助金等の自動車に対する需要刺激策の効果などもあり、緩やかな回復基調が続いていましたが、エコカー補助金が終了し、また、欧州における金融・財政問題による景気停滞や同問題を背景とした中国・インド等の新興国での景気減速の強まりが影響する形で、輸出や工業生産が減少し、依然として先行きの不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当社とその連結企業（以下「当社グループ」という。）の当第３四半期の売上高は、前年同四半期比12.6％減の136億58百万円を計上、経常利益は前年同四半期比16.7％減の15億15百万円、四半期純利益は前年同四半期比17.4％減の９億66百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループの主要事業である鍛造事業は、鍛造品の主要マーケットである自動車産業においてはエコカー補助金の終了や中国国内での日本車の販売不振等の影響を受け、売上高は減少いたしました。また、建設機械産業においては、中国での需要の大幅な減少と世界経済の景気減速に伴う資源需要の減少により大型建設機械の生産調整が一層強まり、関連する鍛造部品が減少いたしました。以上より、鍛造事業の売上高は、前年同四半期に比べ20億17百万円減少の103億30百万円となりました。

仮設機材の販売・リースを行う建機事業は、建設業界での民間設備投資や不動産市況の低迷による建設工事の減少が引続き基調にありますが、復興関連需要などを背景として、仮設機材の受注は比較的堅調に推移し、売上高は、前年同四半期に比べ５億29百万円増加の19億29百万円となりました。

金属製パレットの製造販売を中心とした物流事業は、主要顧客である自動車会社において新車投入が今年度は端境期となっていることならびに計画していた特殊パレットの減少等もあり、売上高は、前年同四半期に比べ４億79百万円減少の12億83百万円となりました。

不動産事業の売上高は、安定的に推移し、前年同四半期に比べ６百万円増加の１億14百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ8.7％減少し、182億30百万円となりました。これは、現金及び預金が７億29百万円減少、受取手形及び売掛金が12億32百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.2％増加し、132億62百万円となりました。これは、有形固定資産が１億71百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ5.2％減少し、314億92百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ27.1％減少し、60億61百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が17億６百万円減少、未払法人税等が５億60百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ7.1％減少し、25億10百万円となりました。これは、長期借入金が１億88百万円減少したことなどによります。

（純資産）
純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 3.3%増加し、229 億 20 百万円となりました。これは、利益剰余金が７億４百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況
当第３四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より７億 29 百万円減少し、95 億 27 百万円となりました。
各活動のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）
営業活動による資金の増加額は、４億９百万円となりました。この主な要因は、増加要因として税金等調整前四半期純利益 14 億 55 百万円、売上債権の回収 12 億 48 百万円、減少要因として仕入債務の減少 17 億 32 百万円、法人税等の支払 10 億 63 百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動による資金の減少額は、７億 31 百万円となりました。これは、設備投資等の有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動による資金の減少額は、４億 53 百万円となりました。これは、主に配当金の支払、借入金の返済によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報
当年度の連結業績予想については、平成 24 年 11 月 14 日に公表した業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算
法人税等の処理は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成 24 年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,256,689	9,527,593
受取手形及び売掛金	5,114,733	3,882,553
有価証券	203,817	253,933
製品	1,804,199	1,815,118
半製品	108,431	97,677
仕掛品	888,873	833,911
原材料及び貯蔵品	738,756	754,565
その他	855,484	1,065,303
貸倒引当金	△466	△298
流動資産合計	19,970,518	18,230,359
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,416,385	4,421,392
その他（純額）	4,916,215	5,082,543
有形固定資産合計	9,332,601	9,503,935
無形固定資産	19,000	18,928
投資その他の資産		
投資有価証券	2,832,042	2,634,808
その他	3,201,175	3,244,402
貸倒引当金	△2,146,773	△2,139,527
投資その他の資産合計	3,886,443	3,739,683
固定資産合計	13,238,045	13,262,547
資産合計	33,208,564	31,492,907

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,968,299	4,261,454
短期借入金	1,209,673	1,210,932
未払法人税等	624,898	64,331
賞与引当金	98,177	67,890
その他	416,531	457,047
流動負債合計	8,317,580	6,061,656
固定負債		
長期借入金	2,180,963	1,992,605
退職給付引当金	327,637	328,273
役員退職慰労引当金	95,761	91,464
その他	99,168	98,196
固定負債合計	2,703,530	2,510,540
負債合計	11,021,111	8,572,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,256,723	7,256,723
資本剰余金	6,872,872	6,872,872
利益剰余金	11,061,338	11,766,337
自己株式	△1,846,946	△1,846,966
株主資本合計	23,343,987	24,048,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228,854	133,741
為替換算調整勘定	△1,464,688	△1,351,937
その他の包括利益累計額合計	△1,235,833	△1,218,195
少数株主持分	79,299	89,939
純資産合計	22,187,452	22,920,709
負債純資産合計	33,208,564	31,492,907

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	15,619,882	13,658,172
売上原価	13,512,752	11,806,628
売上総利益	2,107,129	1,851,543
販売費及び一般管理費		
従業員給料	138,576	155,598
運賃	245,545	208,225
その他	394,908	407,029
販売費及び一般管理費合計	779,030	770,853
営業利益	1,328,099	1,080,689
営業外収益		
受取利息	24,551	27,418
受取配当金	134,583	143,695
作業くず売却益	357,229	269,119
その他	93,808	97,972
営業外収益合計	610,173	538,205
営業外費用		
支払利息	42,228	38,254
退職給付費用	52,093	52,093
金型廃棄損	12,955	12,594
その他	11,393	267
営業外費用合計	118,671	103,209
経常利益	1,819,601	1,515,686
特別利益		
投資有価証券売却益	198,850	－
受取保険金	6,878	5,134
特別利益合計	205,728	5,134
特別損失		
固定資産処分損	64,502	65,708
保険解約損	5,810	－
特別損失合計	70,312	65,708
税金等調整前四半期純利益	1,955,017	1,455,113
法人税、住民税及び事業税	772,861	473,871
法人税等調整額	3,084	2,901
法人税等合計	775,945	476,773
少数株主損益調整前四半期純利益	1,179,071	978,339
少数株主利益	9,001	12,105
四半期純利益	1,170,070	966,233

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主利益	9,001	12,105
少数株主損益調整前四半期純利益	1,179,071	978,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△307,915	△95,113
為替換算調整勘定	△342,284	115,037
その他の包括利益合計	△650,199	19,924
四半期包括利益	528,871	998,263
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	526,679	983,872
少数株主に係る四半期包括利益	2,192	14,391

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,955,017	1,455,113
減価償却費	633,243	616,230
負ののれん償却額	△14,254	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	733	△7,414
受取利息及び受取配当金	△159,135	△171,113
支払利息	42,228	38,254
賞与引当金の増減額（△は減少）	△44,068	△30,286
退職給付引当金の増減額（△は減少）	59,851	636
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	13,612	△4,297
投資有価証券売却損益（△は益）	△198,850	－
売上債権の増減額（△は増加）	△964,088	1,248,654
有形固定資産処分損益（△は益）	64,502	65,708
たな卸資産の増減額（△は増加）	44,653	50,853
仕入債務の増減額（△は減少）	1,080,765	△1,732,772
その他	95,063	△189,628
小計	2,609,275	1,339,937
利息及び配当金の受取額	159,135	171,138
利息の支払額	△42,228	△38,254
法人税等の支払額	△793,036	△1,063,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,933,145	409,655
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△203,775	△203,933
有価証券の売却による収入	428,640	203,817
有形固定資産の取得による支出	△553,386	△734,365
投資有価証券の取得による支出	△50,000	－
投資有価証券の売却による収入	233,500	－
その他	53,046	3,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,975	△731,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△179,863	△187,098
配当金の支払額	△261,235	△261,235
少数株主への配当金の支払額	△4,984	△3,751
自己株式の取得による支出	△19	△19
自己株式の売却による収入	21	－
その他	△1,471	△1,471
財務活動によるキャッシュ・フロー	△447,552	△453,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△151,116	46,185
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,242,501	△729,095
現金及び現金同等物の期首残高	8,646,121	10,256,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,888,623	9,527,593

（４）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）
該当事項はありません。

（５）セグメント情報

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	12,347,639	1,399,972	1,763,843	108,426	15,619,882
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	12,347,639	1,399,972	1,763,843	108,426	15,619,882
セグメント利益	1,142,634	129,946	252,551	51,674	1,576,805

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,576,805
全社費用（注）	△ 248,705
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,328,099

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	10,330,114	1,929,526	1,283,991	114,539	13,658,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	10,330,114	1,929,526	1,283,991	114,539	13,658,172
セグメント利益	758,029	343,288	157,198	60,890	1,319,406

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,319,406
全社費用（注）	△ 238,716
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,080,689

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、セグメント利益に与える影響は軽微であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）
該当事項はありません。